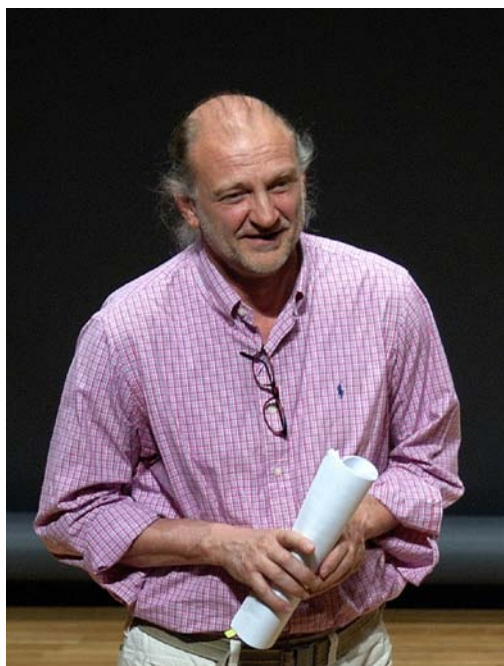


オペラ演出家・歌手育成の現在

世界的なオペラ演出家、ペーター・コンヴィチュニー氏が来日します。
オペラ上演が盛んにおこなわれている広島および近郊のオペラ関係者との直接の対話により、
日本におけるオペラ劇場人材育成の在り方を考える機会にします。



日時 2010年8月8日(日) 12:00~13:30
会場 アステールプラザ オーケストラ等練習場
[住所] 広島市中区加古町 4-17 [TEL] 082-244-8000
[アクセス] 広電電車「市役所前」・「舟入町」下車／広島バス「加古町」下車
[ウェブサイト] <http://www.cf.city.hiroshima.jp/naka-cs/>
講師 ペーター・コンヴィチュニー (オペラ演出家)
通訳 蔵原 順子 (ドイツ語 逐次通訳)
参加費 無料 (要事前申込)

ペーター・コンヴィチュニー Peter Konwitschny

高名な指揮者フランツ・コンヴィチュニーを父として1945年にドイツに生まれた。ベルリンでオペラ演出を学び、1980年以降ドイツを中心とする著名歌劇場で数多くのオペラ演出を手がけ、現代屈指のオペラ演出家として活躍中。数々の作品の中でもグラーツの《アイダ》《ファルスタッフ》、ハンブルクの《ローエングリン》、シュトゥットガルトの《神々のたそがれ》、ハノーファーの《慈愛に満ちた大きな太陽の下で》等は、コンヴィチュニー演出の最高傑作として高い評価を受けている。これまでに DDR 芸術賞(旧東ドイツ)、ベルリン芸術アカデミーのコンラート・ウォルフ賞、ドイツ連邦功労十字賞などを受賞。

日本では、2006年《魔笛》(シュトゥットガルト州立歌劇場)、2008年《エフゲニー・オネーギン》(東京二期会)、《アイダ》の上演は記憶に新しい。2008年よりライプツィヒ歌劇場の首席演出家を務め、《月に憑かれたピエロ》、《ローエングリン》、《アルセスト》、《バッハー・イエリネク・プロジェクト》など新演出を相次いで発表し注目を集めている。

【主催】 昭和音楽大学 **【共催】** ひろしまオペラ・音楽推進委員会

【協力】 財団法人びわ湖ホール GOETHE-INSTITUT JAPAN ドイツ文化センター

【お問い合わせ・お申し込み】 *参加ご希望の方は「お名前」「ご所属」「ご連絡先」を明記して下記にお申し込みください

昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所 〈ウェブサイト <http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/>〉
TEL 044-953-9858 FAX 044-953-6652 E-MAIL opera@tosei-showa-music.ac.jp